



## 第44回全幼研

### 教育経営研修会（香川）

終わりました

理事長 福井 直美

11月11日瀬戸内海の島々が輝く海と青空の下、北は北海道、南は沖縄まで全国から198名の皆様のご参加により香川県高松市において開催いたしました。

ご多用の中にもかかわらず、文部科学省初等中等教育局 幼児教育課長藤岡謙一様、香川県教育委員会教育長淀谷圭三郎様にはご臨席を賜りご挨拶をいただき、記念すべき最後の教育経営研修会は華やかに開催できました。

「一人一人のウェルビーイングを求めて～子どもたちを守り、育て、伸ばす園経営～」をテーマに、第44回は単独開催での最後の会となりましたが、思い出に残る充実した会となりました。

子どもを守り、育て、伸ばす園経営をつかさどる園長先生方の学びの場を研究大会から独立させて充実させていくために昭和55年に第1回を埼玉県で開催して以来、44回香川県までつなげてまいりました。

しかし社会の様々な状況の中で事業改善の一つとして、この園長、管理職の皆様の経営研修を夏の研究大会の分科会に組み入れ、新しい形で経営のことを考えていくこととなりました。

幼児教育課長様のお話では、「子ども主体の幼児教育」のはずが、現状はそうっていないという厳しい現状を再確認し、栃木と兵庫のお二人の先生の提案からは各園の取組から園経営の工夫を、佐々木晃先生の講演からは「協働性とマネージメントの考え方」を学ぶことができました。幼児教育の厳しい現状の中ではありますが、それぞれが、諦めずに前向きに真摯に課題に取り組んでいかなければならないと強く思う充実した研修の内容でした。子どもが未来を幸福で自己充実して生きていくために幼児期に大切なことは何か、一人一人のウェルビーイングとは何かに視点をあて、心身ともに健康、安全であることを基本に幼児の育ちを社会みんなとつながり支えていかれるようにと願い、園経営について皆様と共に語り合えた会となり終了いたしました。

最後に44年間を振り返っての映像では、各会のテーマと開催場所が示され、感慨深いものがありました。



本研修会にご指導・ご助言をいただきました香川県教育委員会 高松市教育委員会をはじめとして、様々なご準備をいただきました藤井美紀（ふじいみき）運営委員長を始めとする、香川支部の皆様ありがとうございました。

2024年夏、愛知県から新たにスタートをする全幼研を今後ともよろしくお願いいたします。